東京カンテイ「マンションデータ白書 2010【速報値版】」を発表

中部圏の新築マンションは前年比 - 16.3%の 4.606 戸 4 年連続の減少

全国の新築供給戸数は85,176戸 首都圏と近畿圏が牽引し5年ぶりに増加に転じる

中部圏の新築マンション供給戸数~前年比 16.3%減少、愛知県では縮小幅は縮小するも 8.0%減

2010 年の中部圏の新築マンションの供給戸数は 4,606戸で 2009年の5,505戸から 16.3%減少した。2006年以降 4年連続で減少している。

県別に見ると、愛知県が前年比 8.0%減少して3,724 戸と、年間で10,356 戸供給された2000年のおよそ3分の1の供給となっている。

三重県は 24.0%減少の 241 戸、静 岡 県 は 32.5%減少の 626 戸と 低調で、岐阜県では年 間の供給戸数が 15 戸と

		2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	10年前年比
北海道		3,657	3,945	2,698	1,677	1,320	78.7%
東北地方		4,534	4,294	2,893	1,554	724	46.6%
北関東地方		6,167	5,208	3,611	1,381	267	19.3%
首都圏		79,623	61,364	48,123	38,059	47,343	124.4%
北陸·中部地方		4,187	2,724	2,783	1,181	491	41.6%
	岐阜県	701	564	344	210	15	7.1%
	静岡県	1,706	1,210	1,517	928	626	67.5%
	愛知県	8,569	6,175	5,991	4,050	3,724	92.0%
	三重県	721	1,008	588	317	241	76.0%
中部圏		11,697	8,957	8,440	5,505	4,606	83.7%
近畿圏		28,915	29,524	20,762	17,186	21,718	126.4%
中国地方		7,251	6,939	3,152	2,536	2,222	87.6%
四国地方		2,502	1,612	1,945	1,120	912	81.4%
九州地方		12,914	10,687	8,143	7,355	5,191	70.6%
沪	中縄県	555	318	142	314	382	121.7%
	全国	162,002	135,572	102,692	77,868	85,176	109.4%

いう近年まれに見る低水準な新規供給となった。

中 部 圏 新 築 マンションの 価 格 動 向 ~ 専 有 面 積 4 年 連 続 縮 小 の 影 響 で 平 均 坪 単 価 が 僅 か に 上 昇

中部圏の新築マンション の平均価格は 3,214 万 円となり、前年比 3.0% 下落した。一戸平均価 格は2年連続で下落し ている。一方、平均坪単 価は 0.9% 上昇した。上 昇したのは2年ぶりであ る。中部圏では平均専 有面積の縮小傾向が顕 著で、2004年の86.24㎡ を直近のピークに以降 徐々に縮小し2009年に は 80 ㎡台を下回り、 2010年には76.55㎡とな っている。



発 行 株式会社 東京カンテイ リリース日 2011年1月27日(木) 本記事の無断転載を禁じます。